

## 施策別の取組状況(令和4年度～令和6年度)

(1)重点施策① 食品ロス削減の推進		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	■発生抑制を目的とした施策の展開			
	●市民や事業者に対する食品ロスに関する知識の普及啓発			
	✓食品ロス削減につながる講習会や研修会(実施回数:1回)	○	○	-(※1)
	✓出前講座	7回 (576名)	16回 (1,020名)	16回 (978名)
	✓市アプリや市SNS等を利用した普及啓発	○	○	○
	●家庭における食品ロス削減の推進			
	✓3きり運動の推進に向けた情報発信	○	○	○
	✓賞味期限と消費期限についての正しい知識の普及	○	○	○
	✓大学との公民連携による食品ロス削減に向けた情報発信	○	○	○
	●事業所における食品ロス削減の推進			
	✓エコショップ認定店を市民へ情報発信	○	○	○
	✓フードシェアリングサービス「Kuradashi」の情報発信及び普及啓発(連携協定)	○	○	○
	✓「3010」運動を推進する啓発媒体や啓発手法の検討(茨ごみプリ活用)	○	○	○
	✓北摂地域の自治体と事業者による啓発活動の実施	○	○	○
	✓「北摂地域における食品ロスの削減及び容器包装を含めたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する協定」を締結	-(※2)	○	○
	✓食品ロス削減事業に取り組む事業者との協業に向けた調整(意見交換等)	○	○	○
	■循環型社会の推進に向けた施策の展開			
	●未利用食品の有効利用に向けた取組			
	✓フードドライブの実施(実施回数:3回/年)	3回	3回	3回
	✓事業者が実施するフードドライブの情報発信	-(※3)	-(※3)	○
	●災害備蓄食・飲料水の有効活用			
	✓災害備蓄食や飲料水を防災訓練等にて啓発用として配布	○	○	○
	■推進体制の整備に向けた施策の展開			
	●茨木市廃棄物減量等推進審議会の活用			
	✓廃棄物減量等推進審議会の実施	3回	1回	2回
	●食品ロスに関するごみ組成調査の実施を検討			
✓家庭系普通ごみの組成調査の計画策定	○	-(※4)	○	
●全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会による取組				
✓全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会への参画	○	○	○	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス問題の認知度は高いものの、まだ十分な削減量ではありません。</li> <li>・家庭系食品ロスについては、具体的な食品ロス削減方法が市民に十分認知されていません。</li> <li>・事業系食品ロスについては、多くの事業者が削減に取り組んでいますが、取組をより推進するため、具体的な削減方法を情報提供する必要があります。</li> </ul>			

※1 講師を依頼していたフードパントリーが活動を休止したこと、令和6年度中に推進員にアンケートを実施し今後開催するか方向性を検討するために、令和6年度は実施を見送った

※2 令和4年度に高槻市より提案があり、令和5年度に協定締結したため。

※3 ファミリーマートの実施するフードドライブについて、令和6年度より広報誌に掲載を開始したため。

※4 計画の改定等に伴う組成調査の予定がなかったため。

施策別の取組状況(令和4年度～令和6年度)

(2)重点施策②プラスチックごみの削減と資源循環の推進		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	■家庭系プラスチックごみの削減と資源循環の推進			
	●プラスチックの分別収集の検討			
	✓使用済みペットボトルの水平リサイクル事業化検討	○	○	○
	✓新たな分別品目の追加及び事業者等と連携した新たな再資源化ルートの検討(他市等の事例情報収集や課題の整理)	○	○	○
	●プラスチック製容器の回収の促進			
	✓コンタクトレンズ空ケース回収の実施	○	○	○
	✓店頭回収を実施しているスーパー等を案内(エコショップ認定店)	○	○	○
	✓インクカートリッジ回収の実施	-(※1)	-(※1)	○
	●プラスチック廃棄物削減のための啓発強化			
	✓プラスチックの削減にかかる市HPの作成	○	○	○
	✓事業所等給水機設置補助の実施	○	○	○
	✓市役所本館に給水機設置検討	○	○	○
	✓公共施設での給水機設置検討	○	-(※2)	-
	■事業系プラスチックごみの削減と資源循環の推進			
	●エコショップ認定制度の推進			
✓市広報誌等による未認定の事業所への周知・啓発	○	○	○	
●プラスチック製品の製造・利用削減の推進				
✓事業者の使い捨てプラスチック製品を削減するよう来場者へ呼びかけ(農業祭でのエコバッグ持参呼びかけ)	○	○	○	
✓北摂地域の自治体と事業者による啓発活動の実施	○	○	○	
✓「北摂地域における食品ロスの削減及び容器包装を含めたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する協定」を締結	-(※3)	○	○	
課題	・海洋プラスチックなどの社会問題、令和4年の「プラスチック資源循環推進法」施行を受け、これまで以上に具体的なプラスチックごみの削減対策を検討・実施する必要があります			

※1 令和6年度より実施のため。

※2 検討したが費用対効果を鑑み検討を停止した。

※3 令和4年度に高槻市より提案があり、令和5年度に協定締結したため。

(3)再資源化可能物の分別の徹底・再資源化の推進		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	■古紙、古布の再資源化の推進			
	✓雑がみに該当する具体的な紙の種類明記した雑がみ保管袋を出前講座や環境フェアにて配布	○	○	○
	■小型家電の再資源化の推進			
	✓宅配回収や拠点回収を継続し、転入手続きの際に案内リーフレットを配布	○	○	○
	■民間等の取組の情報収集・市民等への情報発信			
	✓リネットジャパンリサイクル(株)が実施する小型家電の宅配回収(連携協定)	○	○	○
	✓HOYA(株)アイケアカンパニーが実施するコンタクトレンズ空ケース回収の取組紹介(連携協定)	○	○	○
	✓ジット(株)が実施するインクカートリッジ回収の取組紹介	-(※)	-(※)	○
✓民間事業者等の取組の情報収集 ・サステナブルファッションの取組(イオンモール(株)) ・藍野大学(ユニフォームをポーチにリメイク)	○	○	○	
課題	・多くの市民・事業者は、「分別の必要性」を認識しているものの、分別の分類、回収方法等の詳細情報を十分に保有していません。また一部の「分別の必要性」を感じないグループへの情報提供も必要であります。			

※ 令和6年度より実施のため。

## 施策別の取組状況(令和4年度～令和6年度)

(1)基本施策① 啓発・指導の強化		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	●市民を対象とした啓発の強化			
	✓出前講座	7回 (576名)	16回 (1,020名)	16回 (978名)
	✓出前講座等のオンライン化(オンライン講座可能な体制や設備を整備)	○	○	○
	✓企業広告費を活用した無料でのWeb広告による情報発信	-(※1)	-(※1)	○
	✓不要品の処分を廃棄からリユースへと促すため(株)ジモティー及び(株)マーケットエントラプライズが運営するWEBサイトの情報発信及び普及啓発(連携協定)	○	○	○
	✓おにクルのこども広場におけるこども用品リユース事業の連携	○	○	○
	✓適正処理困難物等の処理方法を市HP等で掲載	○	○	○
	✓転入時配布書類の中に周知チラシ(茨ごみプリ、小型家電の宅配回収)を同封	○	○	○
	●事業者を対象とした指導・啓発の強化			
	✓多量排出事業者の廃棄物管理責任者を対象とした研修会の実施(実施回数:1回)	○	○	○
✓指導の行き届いていない小規模事業者へも指導(情報提供や他の巡回、調査を契機とする個別指導)	○	○	○	
✓分別及び再資源化の徹底に関する多量排出事業者への訪問・指導の強化	○	○	○	
✓市広報誌による市ごみ集積場所への搬出不可の周知	-(※2)	○	○	
課題	・市民及び事業者に対して、有用な情報を効果的に伝える必要があります。			

※1 令和6年度より試行のため。

※2 令和5年度より広報誌に掲載を開始したため。

(2)基本施策② 新たな分別品目・再資源化の検討		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	●新たな分別品目・再資源化の検討			
	✓インクカートリッジ回収の検討	○	○	
	✓インクカートリッジ回収の実施	-(※)	-(※)	○
	✓使用済紙おむつや羽毛布団の再資源化を検討(他市等の事例情報収集や手法と課題の整理)	○	○	○
課題	・家庭系プラスチックごみの資源循環を実施するため、分別・回収・再資源化の各段階においてそれぞれ複数ある方法を比較して、実質的に本市に合った方法を具体的に検討していく必要があります。			

※ 令和6年度より実施のため。

(3)基本施策③ 効率的なごみ処理の推進		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	●収集内容等の見直し			
	✓プラスチック等の分別種目の対象拡大を見据えた、直営及び委託業者の収集内容を検討(他市等の事例情報収集や意見交換、課題の整理)	○	○	○
	●排出困難者への対応(スマイル収集の利用促進)			
	✓居宅介護支援事業所等の関係機関との連携を図りながら、利用促進について検討	○	○	○
	●廃棄物減量等推進員制度の活動拡大			
	✓他市事例の情報収集や課題の整理	○	-(※)	-(※)
	✓推進員未選出の自治会に対してチラシを配布	-(※)	○	○
	●家庭系ごみの適切な処理費用負担のあり方の検討			
	✓適正な処理料金のあり方について検討し、一部料金の見直し(令和5年4月新料金改定)	○	○	○
	●事業系ごみの適切な処理費用負担のあり方の検討			
✓適正な処理料金のあり方について検討し、一部料金の見直し(令和5年4月新料金改定)	○	○	○	
課題	・高齢化が進み、ごみの排出が難しい高齢者が増えています。また有料化には否定的な意見が増加している一方、今後、ゴミ処理にかかる費用上昇が懸念され、より効率的なごみ処理が必要となります。			

※ ※推進員未選出の団体に対して、チラシの配布を令和5年度より実施したため。

### 施策別の取組状況(令和4年度～令和6年度)

(4)基本施策④ごみ処理施設の適切な運用		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	●次期ごみ処理施設に関する計画的推進	/		
	✓次期ごみ処理施設について、あり方や仕様の検討(他市等の事例収集、事業者との意見交換)	○	○	○
	●ごみ処理施設の維持管理	/		
	✓点検・修理を実施	○	○	○
	●広域連携による適切なごみ処理の推進	/		
	✓摂津市との一般廃棄物の広域処理の実施に向けた協議の実施	7回	2回	5回
	✓摂津市のごみ処分手務の受託	-(※)	○	○
課題	・令和4年の「プラスチック資源循環推進法」施行を受け、本市の家庭系プラスチックごみの資源循環の実施過程とともに、現施設の運用・更新等も含めた検討をしていく必要があります。			

※ 令和5年度より広域化を実施のため。

(5)基本施策⑤災害廃棄物の適正処理の推進		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組状況	●災害廃棄物の適正処理の推進	/		
	✓仮置場候補地の状況を確認	○	○	○
	✓災害廃棄物処理計画取組スケジュールの見直し(5年間のローリングスケジュールに変更)	○	○	○
	✓摂津市との広域化に伴う災害廃棄物の推計	-	○	-(※1)
	✓同計画並びに市地域防災計画、業務継続計画、受援計画等に沿ったアクションカード型マニュアルの整備	-	-	○
	✓上記マニュアルに沿った職員防災訓練の実施並びに実施後の同マニュアルの見直し	-	-	○
	✓市民ボランティアセンターとの連携(ボランティア向け災害ごみ処理ハンドブックの配布)	-	-	○
	✓民間事業者等との協定の検討(災害廃棄物処理事業者との連携協定締結、仮設トイレ設置に係る連携先の検討)	○	○	○
	✓大栄環境㈱との災害廃棄物等の処理に関する基本協定書に基づく連絡協議会の実施	-(※2)	○	○
課題	・近年、異常気象が激甚化・頻発化しており、日本各地で水害・土砂災害等の気象災害をもたらしています。これらの災害の発生に伴い、多量の災害廃棄物の発生が懸念されており、本市においても令和2年11月に災害廃棄物処理計画を策定し、これに沿って平時より取組を進めているところです。引き続き、実際の被災時に適正処理が実施できるように平時より取組んでいく必要があります。			

※1 令和5年度実施済みのため。

※2 令和5年度に協定締結のため。